ようこそ！夢の本棚へ

発行所：松居直コレクションプロジェクト
代　表：金戸 美紀子
事務局：石川県小松市
小馬出町10-3
空とこども絵本館
☎ 0761-23-0033
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

世界に絵本を求めて①

～世界が注目する日本の伝統と文化～

新元号 令和

★今回から、2010（平成22）年10月に絵本館ホール十九番館（現・夢の本棚）で行なわれた松居直講演会「世界に絵本を求めて」より、その内容を抜粋してお届けします。

物語を語る文化を日本の絵で

◆私の編集方針の一つに「日本の絵で物語を語る文化を次の世代に伝えたい」というのがあります。そのために、絵巻物の手法を徹底的に学んで、絵本の表現に活かすよう心掛けてきました。一番よく活かしてくださったのが、赤羽末吉先生です。12世紀、13世紀から「絵で物語を語る」という文化と芸術を日本は確立しています。世界的にほんとに珍しい◆フランクフルトのブックフェアに、1962年から日本の出版界は参加するようになりました。その時に、私の編集した「こどものとも」の『かばくん』と『おおきなかぶ』を持って行きました◆そしたら、ヨーロッパ各国の編集者が福音館のコーナーへ来て、手に取って丁寧に見てくれました。その時に編集者が異口同音に言ったことが「戦争に負けた国が、どうしてこれだけの質の絵本ができるのか」と、次から次へと質問されたんですね。

欧米と違う絵本作りを

◆そこで、翌年参加しました時には「鳥獣戯画」の複製を持って行きました。「実は日本には、12世紀、13世紀にこういうものをちゃんと作る伝統があったんですよ」と言って見せますと、信じられない顔をするんですね◆私は中学2年生の時に、日本の絵巻に興味を持ってほとんど現物で見ておりましたので、絵本の編集者になってそれを活かすことができるようになりました。その時に改めて、「ヨーロッパやアメリカと違う絵本を作って行かなくては…」「日本の伝統を日本の子どもたちに伝えることが私の大きな使命だな」ということを痛感したんです。

鳥獣人物戯画（甲巻部分）

奈良絵本が海外に流失

◆さらに日本には、「奈良絵本」というのがあります。重要文化財になって、今、日本にもありますけど、一番たくさんあるのが海外なんです◆最大のコレクションは、ダブリンのチェスター・ビーティー図書館です。ほんとにすごいコレクションです。大英博物館とか大英図書館、ニューヨークのパブリックライブラリーとか大きなヨーロッパの図書館には、割合に「奈良絵本」が買われているんですね。明治維新の時と敗戦の後、残念ながら流失してしまったんです。

Q：「奈良絵本」って？

A：御伽草子、舞の本（幸若舞）などに彩色の挿絵を入れた古写本。奈良絵本は興福寺などの絵仏師が注文や売品としてつくったものであるといわれるが、その名称は明治中期ころにつけられたもので、江戸時代には単に古写本、かき本などとよばれるのみである。奈良絵本には筆者や製作年代を記したものがきわめて少ないが、その画風などから室町時代末期より江戸時代初期にかけてつくられたものと考えられ…（以下省略）

→日本大百科全書（ニッポニカ）の解説より

日本の技法と表現

◆日本のものが海外へ流失してしまっていることは、マイナスの面もあるけど、プラスの面もあるんですね。海外の専門家の方のほうが、日本の絵で語る本に非常に理解がある。ずっと後になりますけど、スタジオジブリのアニメーションが世界へ広がりました。それから、日本の漫画も、今世界へ広がっています◆そういうものに対して、ヨーロッパのかなり専門の方々がご覧になって、「どうして日本のアニメーションは、こういう技法でこういう表現ができるのか」「これは、我々のものとは違う。独特の伝統と文化を持ってるからできたものではないだろうか」といった問題意識をかなりたくさんの方が持ってたらしいんですね（つづく）